

○現状の課題（市道三溝線）



▲歩道内での歩行者と自転車の錯綜



▲混雑する歩道（イベント開催時）



▲右折レーンがなく追突事故の懸念がある交差点



現在の市道三溝線

**今後想定される状況**

- 沿道人口の増加  
(街なか居住を支える快適な道路空間の構築が必要)
- サンライズパーク（アリーナ）の整備  
(駅からのアクセス向上（自転車・徒歩含む）が必要)

○市道三溝線の再整備を検討

○市道三溝線再整備における検討（地元自治会、近隣学校、警察、行政等）  
⇒三溝線再整備の内容について検討

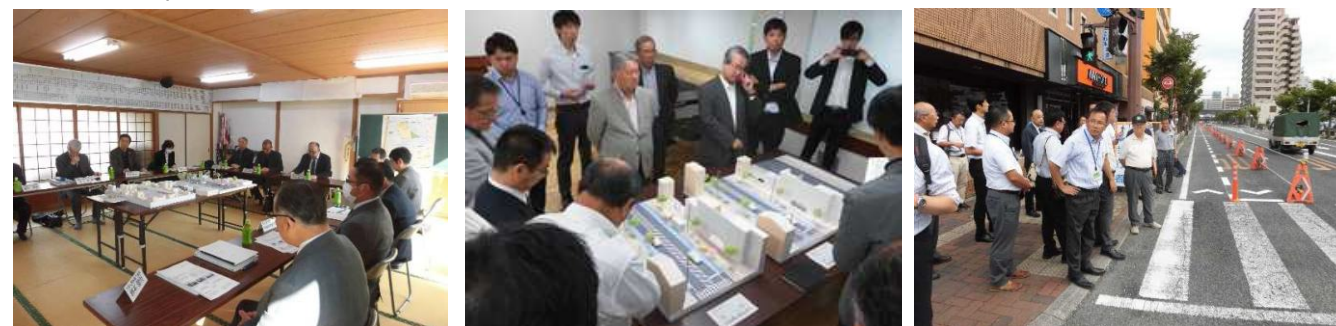
○社会実験の実施  
⇒歩道拡幅、車線減少による交通への影響を調査

○住民アンケートの実施  
⇒再整備に対する地元住民等の意見・気づきを調査

●市道三溝線再整備検討会

- ・昨年度5回開催した市道三溝線再整備検討会では、課題分析や社会実験の結果を踏まえながら道路空間の再配分に関する検討を実施
- 第1回（H30.5.30） 沿線地区の現状分析／社会実験の概要
- 第2回（H30.6.28） 交通実態分析／社会実験計画／歩道活用方策
- 第3回（H30.9.2） 社会実験現場確認／国土交通省委託事業計画
- 第4回（H30.10.23） 社会実験結果分析／再整備方針／歩道活用方策
- 第5回（H31.1.25） 再整備方針のとりまとめ

※検討会の様子：意見交換、模型による確認、現地調査等を行いながら検討



●社会実験（車線減少・歩道拡幅）



※周辺道路を含め大きな交通渋滞（混乱）は見られなかった。

●地元住民アンケート結果

○歩行者・自転車の分離は、特に普段から通行に不安を感じている利用者から好評であった。  
○自転車利用者からは「双方向での走行に危険を感じる」との意見もあった。  
⇒歩行者と自転車の分離にあたっては、東西両方向に一方通行の自転車通行空間を整備することが望ましい。  
○車線数の減少に対しては「道路が混雑した」と感じた利用者が多くいた。  
⇒社会実験結果から、車線減少による渋滞など顕著な影響は生じないと考えられるが、駅北口の交差点形状や信号現示など体系的な検討が重要である。

○基本計画（再整備方針）とりまとめ

